

「大学キャンパスにおけるワンセグ情報配信」の提案



立命館大学・映像学部



京都市・産業観光局



京都高度技術研究所



京都放送



リアライズモバイルコミュニケーションズ

ソフトバンクテレコム



【背景と経過】



小型ワンセグ送信機と受信端末



衣笠キャンパス諒友間食堂での視聴

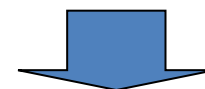


大学祭イベントでのエリアワンセグ広報



◆ワンセグ内蔵携帯端末の普及拡大

◆大学キャンパスでの新しい情報配信メディアとしてワンセグに注目



◆2010年1月・産学公連携検討PJ発足

立命館大学・京都市・京都高度技術研究所・京都放送・リアライズモバイルコミュニケーション・ソフトバンクテレコム

◆2010年10月・衣笠キャンパス食堂内エリア限定ワンセグ実験試験局免許取得

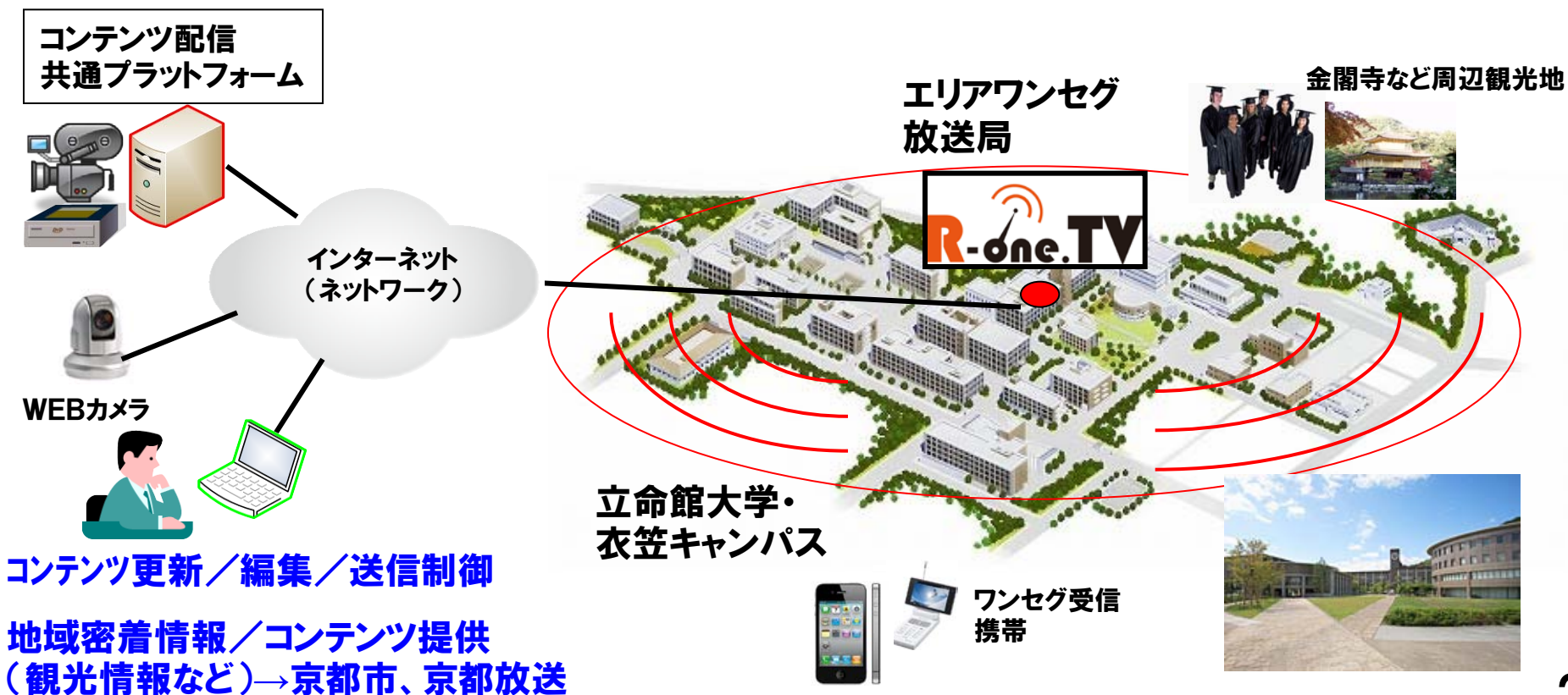


◆2010年11月・立命館大学エリアワンセグ放送局(R-oneTV)開局

- 立命館大学・映像学部による自主運営
(豊富な映像コンテンツと映像編集技術)
- 大学祭イベントでのアンケート調査・普及啓蒙活動
- 蓄積型配信とライブ型配信コンテンツ番組の試験運用

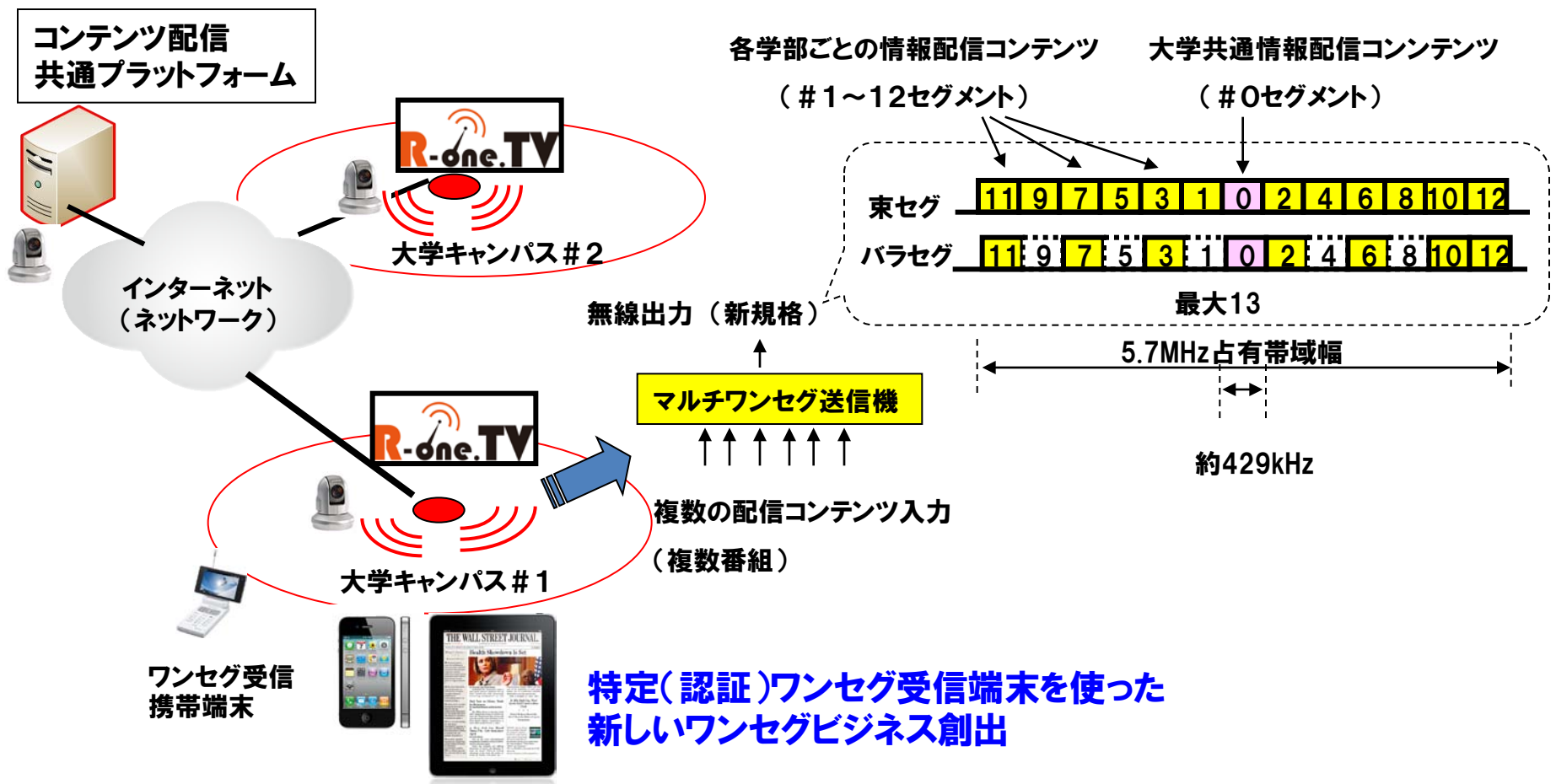
【ホワイトスペース特区での基本フレームと狙い】

- ◆衣笠キャンパス全域へサービス提供
- ◆大学キャンパス利用者全員共通の情報配信メディア・共通インフラとして定着
- ◆周辺地域と密着した情報の配信 → キャンパス周辺情報、観光情報他
- ◆「手軽に出来る」コンテンツ編集・更新 → ネット技術と融合、低コストで簡便な配信
コンテンツ更新プロセスの確立 → コンテンツ産業の創出と市場拡大・人材発掘と育成



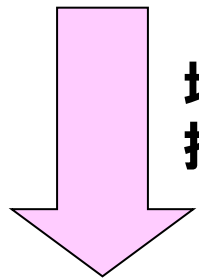
【新規性項目への積極的な取組み】

- ◆ 複数キャンパス(複数エリア)間の情報配信・交換 → ライブ型・蓄積型
- ◆ マルチ・ワンセグ放送(束セグ、バラセグ) → 周波数利用効率向上、高密度情報配信
- ◆ 「特定(認証)」受信端末へのワンセグ情報配信 → 新ワンセグ活用ビジネス創造



【運用体制と取組み方針】

- ◆産学公連携による運用
- ◆学生の街「京都」の地域性を活かしたエリアワンセグサービスの実証
- ◆地域密着コンテンツの創造 → 地域に根ざした新産業の創出
- ◆観光産業との連携
- ◆広域放送とエリアワンセグ放送の連携(相互チャンネル誘導、連携)
- ◆大学間ネットワークとオープン性を利用した取組み(情報公開、他者連携)



地域情報化施策を
推進



【ホワイトスペース特区】

大学キャンパス、「京都」の地域性を活かしたワンセグ情報配信